

ハレット

静かにそして熱心に 裸婦デッサン会

東 支 部 阿 部 勉

今年は7月19日、20日と村松コミセンを会場として開催いたしました。当日は三連休の頭に当たり、行楽日でした。そのためか、参加者は非会員6名を含め延べ46名で、昨年より若干少なめでした。広い多目的ホールを使用したのでゆったりスペースが取れ、各人自分の気に入った場所で描けたようでした。

初日は例年通りクロッキーと固定ポーズとし、翌日は固定ポーズとなりました。固定ポーズは腰かけ姿で、前後左右どこからでも描きやすいものでした。そのためイーゼルも一箇所に片寄らず、2枚目以降の作品制作も移動しやすかったと思えました。

デッサン会は回を重ね、ベテランのほか新入会員、非会員の参加があり顔ぶれが少しずつ変わっているようです。会場は終始静かで、

熱心な作品制作の雰囲気にも包まれていました。

なお、今回のモデルさんは、雑誌「美術の窓」7月号の表紙を飾られた方でした。

オ・ド・ロ・キ!!



コンテと木炭で、デッサンする会員

新会員です。どうぞよろしく。

佐竹 説子さん



小学校より絵は苦手な分野だった私は、石神コミセン絵画教室に通うようになり、先生に絵具から筆まで揃えていただきました。初めて文化祭に自分の絵が飾られた時、先生方や先輩のすばらしい作品の末席をけがした絵ではありませんが、あの時の感激は今でも忘れません。

東海美術連盟の会員となり、いろいろ皆様にご指導をいただき、楽しく、未永く続けたいと思います。よろしくお願いたします。

日座 久隆さん



東海美術連盟の皆様、初めまして。日座です。お世話になります。よろしくお願いたします。美しい絵画にであったとき、自分もあのように描けたらいいなと思えました。画家の感性が、テーマや色彩や筆致に光る作品に遭遇したとき、深い感動と幸せをいただきました。この年齢になつてと思いつつ、仲間入りさせていただきました。

ありがとうございます。

鴨志田 範夫さん



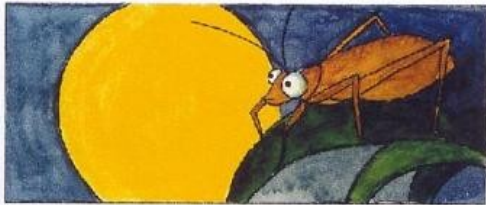
勤務の関係で貝殻を使って子どもたちとネックレスを作ったり、鹿島灘ハマグリを海辺から拾ってきてアクリルで簡単な絵を描いたりしていたこと等で絵に興味を持ち、石神絵画教室に入りました。これから連盟の先生方や先輩の方々からご指導をいただきながら、創作する楽しさを

深められれば幸いです。皆様方、どうぞよろしくお願いたします。

Information

9/2~9/7	第22回ノンブラック女流展	太田バルティホール	照沼、村田他
9/10月	バラ展	レストラン バラン	村田
9/11~9/23	神永マサ子油絵展	リコッティ	神永
9/16~9/22	創造美術会茨城支部小品展	サザ	鴨志田(強)他
9/24~9/28	新構造茨城支部展	茨城県天心記念五浦美術館	高橋他
10/1~10/5	双鳳展	茨城県天心記念五浦美術館	照沼、村田他
10/4~10/19	県芸術祭	近代美術館他	
10/10~10/15	個展	エスパース	山本啓子
10/19~10/25	創造美術茨城支部展	東海ステーションギャラリー	鴨志田(強)他
10/23~11/4	東海絵画同好会作品展	リコッティ	平野他
11/1~11/9	国民文化祭・いばらき2008	近代美術館他	
11/1~3	東海村文化祭		

※ハレット62号の新会員紹介で「安育克一」さんのお名前が「安育勉」さんになっていました。訂正してお詫ひします。



Teaタイム むねひこ 佐久間致彦さんに & A

- 絵はいつから、何歳ぐらいから、始めましたか？
- ▲ 学校の美術部で、水彩画を描いていましたが、23歳ころ社会人となって発表したのは、町の文化祭が最初で墨絵の山でした。
- 何か、きっかけがあったのですか？
- ▲ 墨の色に魅せられたからです。
- はじめから、日本画を中心にしていたのですか？
- ▲ 近所の絵描きさんに、岩絵具で描いた「滝」の絵を見せていただき、スケッチから大作を描くまで、教えられ感動したのがきっかけです。
- 日本画に取り組むようになったのはいつからですか、また、それはなぜですか？
- ▲ 日本画院の先生方に「研究会に入れば上達しますよ。」と言われ、入会したのがはじまりです。岩絵具の発色が魅力でした。近くの先生に指導を受け、上達の足がかりとなりました。
- 好きな画家、影響を受けた画家がおりましたら、その理由も含め教えてください。
- ▲ 精神面で大観先生、表現は東山先生ですね。絵の中に、自分を如何に表現するのが課題です。
- 佐久間さんといえばスペインの画壇との交流が有名ですが、そのきっかけはどのようなことですか？また、現在の交流の様子をお聞かせ下さい。
- ▲ スペインとは限りません。西ヨーロッパの国々に出品しています。県の芸術祭で、評論家の先生に勧められ、イタリアに本部のある、海外芸術交流協会がまとめる、国の展覧会に出品してきました。現在も、招請状が届きますが、控えめにしています。

- 絵以外に好きなこと、得意なことをお聞かせ下さい。
- ▲ 園芸と家庭菜園ですね、心が豊かになります。
- これからの抱負をどうぞ。
- ▲ 息ながく、気張らずに描いて行きたいです。



草もみじの中でスケッチする佐久間さん

公募展 たより



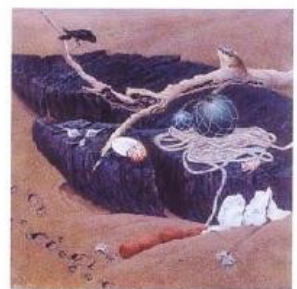
東光会小品展 (都美術館4/29~)
努力賞；木村 隆
(春の足音が聞こえる)



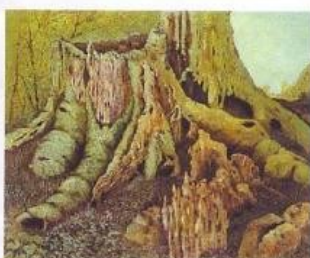
第61回創造展 (都美術館6/1~)
会員賞；鴨志田 強 (A.D.79)



第61回創造展 (都美術館6/1~)
会員賞；神永 マサ子
(フェニックスがくる)



第61回創造展 (都美術館6/1~)
会員賞；波澄 忠行 (汐風の唄)



第61回創造展 (都美術館6/1~)
スポンサー賞；川崎 敏子 (次世代は)



第80回新構造展 (都美術館6/12~)
特選；門前 由弘
(デジタルな対話)



第80回新構造展 (都美術館6/12~)
会員賞；埴 千恵子 (宴)

【新構造展入選者】

- 嶋内 久明 (夏の日午後)
- 棚井 哲雄 (棲む)
- 豊島 和久 (萌える溪谷)
- 本多 清子 (思い出の旅路)
- 松尾 秀子 (ライフワーク)

パレット編集委員
木村、柴田、埴
イラスト：高野

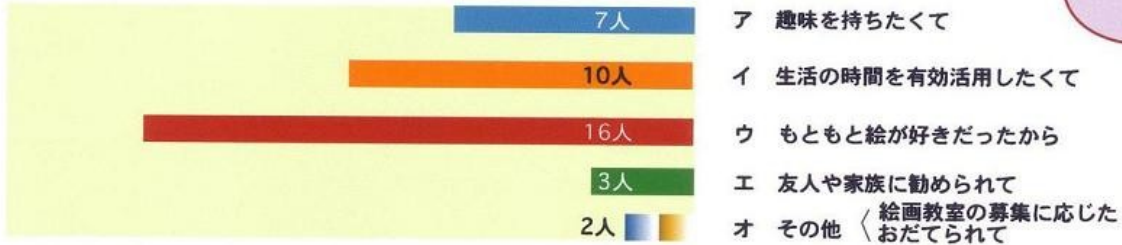
仲間を増やしたい!

絵画に関するアンケートの結果から

去る7月19、20日の裸婦デッサン会の折り「絵画に関するアンケート」を実施しました。その参加者を中心にして27名の方に回答をいただきました。その結果について今号から2回にわたって、考察します。共感したり発見したり、話題づくりにも役立つと思います。(各質問は複数回答です。)

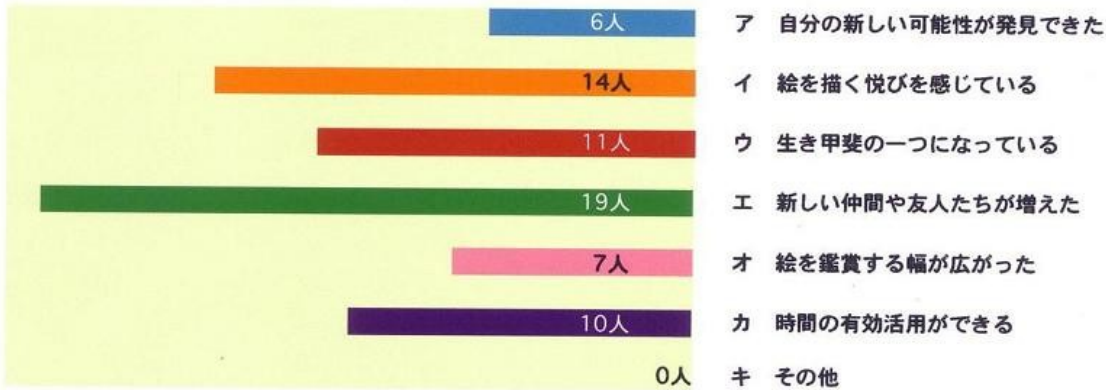
表現力を上げたい!

Q1. あなたが絵を描いてみようとしたきっかけはどのようなことですか？



「絵が好き」という気持ちは、おそらく、幼少のころから染みついている感情かと思われます。その好きな絵を描いたり観たりできる今が、とても幸せですね。また、親や先生や友人にほめられたことが、好きになったきっかけになったのかも知れません。孫育て、子育ての方々はどうのように考えますか。その他に「おだてられて」とありました。この回答には謙遜があるとしても、ほめることが大切なのです。アとイの回答には、生活環境の変化に伴って何かしてみようという気持ちを感じられます。定年退職して毎日が日曜日になったとき、我が子が自立して、さて、自分はどうかと考えたとき、絵があったのでないでしょうか。

Q2. 絵を描きはじめて、よかったことはどんなことですか？



同好の友を得た安心感や理解し合える連帯感を味わっている会員が多いことでしょう。会員同士、良くも悪くも刺激し合って交流を深め、その輪を広げたいものです。そして、本質的にはア、イ、ウの回答にみられるように、絵画による表現力の向上のために努力している姿が浮かび上がってきます。常に前を見つめ、自分を向上させようとする意識が感じられます。すばらしいですね。

Q3. 絵を描いていて楽しいと感じられるのはどんなときですか？



前問と深く関連していると思われませんが、「気の合った仲間」の存在が大変大きいことが見て取れます。改めて仲間づくりの大切さを痛感します。オ、カの回答は絵による表現の本質を捉えた考えと思われる。姿や形など表面に見えるものだけでなく、その奥に潜む何かをつかもうとする積極的な気持ちが伝わってきます。絵描きの本領ですね。

そうは言ってもイ、ウの回答も現実的で肩に力が入っていいではありませんか。その結果その他にある「充実した時間が過ごせる」わけですね。

アの回答は、わずかに3でした。この域に達することができるよう、絵の深さのその先を求めて、仲間へ寄りかかったり支え合ったりしながら、日々努力しようではありませんか。